

# みやけの風

## 第 185 号

平成16年(2004年)8月7日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階  
 東京ボランティア・市民活動センター 気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmpp.org

気分的に落ち着かない方が増えていると思います。それぞれのご家族がそれぞれの事情を抱えながら、帰島について悩まれていると思います。こんな時だからこそ、離れ離れの生活は続いていますが、島民同士で声を掛け合って不安な気持ちを自分ひとりで抱え込まないようにしたいものです。決めるのは一人一人であっても、気持ちを支えあうことは出来ると思っています。

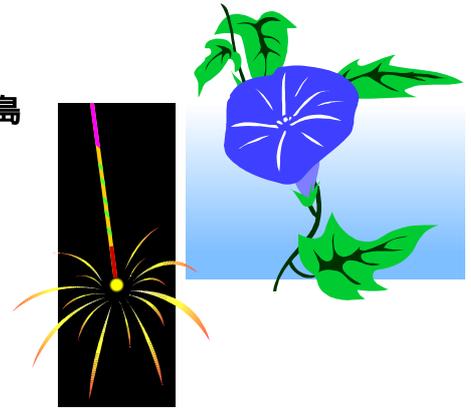
### みんなの声

#### お盆もまぢか

あの日から四年という月日が通りすぎ、ようやく帰島に向けての光が見えて来た今日この頃。  
 如何お過ごしですか、お元気でお過ごしですか？  
 ちょうちんに灯りを入れて墓参り。  
 今年も出来ませんね、絆をむすぶ盆供養。  
 早く帰りたいね！元気で帰りましょうね！  
 ふるさとは私達の帰りを待っているのですから。

2004年8月 No. 48

(阿古 沖倉 沖山 仙明)



#### 私も行って参りました 新潟

中之島町のボランティアセンターに向かうバスの車窓に変わった様子はなく、普段通りに見えました。ボラセンに着くと週末ということもあり、各地から多くのバス、多くのボランティアが集まっており、改めて関心の高さに驚かされました。(この日のボランティアは約2500名。)

しかしながら、この時点ですでに決壊日から10日経っており、自衛隊も引き上げたと言っていたので、だいぶ落ち着いたのだらうと甘い考えを持っていました。実際は泥が堆積したままの状態。復興にはまだまだ時間のかかる状態でした。

私達が向かった地区は、地元ボランティアコーディネーターの秋山さんが、各家と団体の調整役となっており、スムーズに、そして効率よく作業が出来ました。

この方の存在はかなり大きいものです。三宅島に帰島するにあたって、この役割を担ってくれる人を早急に探すべきではないかと

思います。

自然発生的なものとして考えた方が良くもかもしれませんが、何よりも地元の方々が信頼できることが大切だと思います。

連合富山と合流した夜の懇親会では、反省会と共に三宅島代表として挨拶する機会をもらい、桑村さんが三宅島の現状報告をすると共に復興に向け応援をお願いしました。それに対し、上原さんが三宅島の復興は連合東京の使命だとおっしゃってくださり、総力を上げて応援して下さいる事を約束してくれました。

今回ボランティアに参加できたことは本当に大きな意味を持つと思います。来年の帰島の際、ボランティアを受け入れる立場としてもいい勉強となりました。そしてボランティアの気持ち、受ける側の気持ちを直接感じる事が出来たのは何よりも成果ではないでしょうか。この経験が三宅島の復興に活かせるように努力したいと思います。(三宅島社会福祉協議会 早川 信)

**三宅島島民連絡会より**

**「火山市民ネット」第3回フォーラム～東京大会～  
みんなで参加しましょう!!**

島原雲仙普賢岳、伊豆諸島三宅島、北海道有珠山の3噴火被災住民で作る「火山地域の市民団体相互支援ネットワーク(略称：火山市民ネット)」は、平成12年4月1日、結成されました。

各被災地の現状や教訓を伝え合うことなどを目的に開催されてきたフォーラムは、第1回は有珠山大会(平成14年10月)、第2回は島原大会(平成15年11月)に開催され、第3回は三宅島で開きたいところですが、東京新宿での開催となります。

帰島も目前となりました。そこで、島民の皆さまに三宅島の復興についての討論をぜひ聞いていただきたいと思います。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

**【パネラープロフィール】**

**大町辰朗理事長 NPO法人島原普賢会**

長崎県島原市で工務店を経営。平成3年に被災されて今年で13年目になります。被災住民として、「安中三角地帯嵩上げ推進協議会」を作られ、その後住宅再建を行政といっしょに進められました。今後、自分たちでこの街をどう作り上げるか考えようと、「安中地区まちづくり推進協議会」を作られました。災害から10年となったとき、災害の記録を残し、自分たちのこの先、他の被災地の支援を考え、NPO島原普賢会を結成されました。

**白井祐輔理事長 NPO法人洞爺にぎわいネットワーク**

北海道洞爺湖温泉町でホテルを経営されています。平成12年に被災され、4年になります。温泉地ということで、観光面での打撃が大きく、営業していないところもあるそうです。

NPO洞爺にぎわいネットワークとしては、住んで商売している人たちが安心して生活できる環境を作りながら、市民団体の人たちと連携し、町行政とも協働してまちづくりを進めておられるそうです。

日時：平成16年8月28日(土)

14時～16時30分 フォーラム

18時～20時 意見交換(会場別途)

会場：

全労済ホール(地図ご参照下さい)

テーマ：「三宅島の復興を考える」

趣旨：

帰島を目前にした三宅島の復興について、雲仙や有珠山の被災者と学識者が三宅島島民と共に課題や対応策を討論する。

主催：火山地域の市民団体相互支援ネットワーク(火山市民ネット)

NPO法人島原普賢会 / NPO 法人洞爺にぎわいネットワーク / 三宅島島民連絡会

参加費：無料(フォーラム)

事務局：三宅島島民連絡会(電話：03-3269-1243 / 担当：有馬)

(株)社会安全研究所(電話：03-3260-9414)



次週、8月14日発行の「みやけの風」はお盆休みで休刊させていただきます。『みんなの声』コーナーへ、皆さまの夏の思い出をお寄せくださいませ。お待ちしております。(編集担当)

「みやけの風」へのご意見・ご要望を、三宅島支援東京センターまでお聞かせください。